

青森

青森支局
〒030-0801
青森市新町2-2-4
青森新町二丁目
ビル6F
電話 017-773-2121
Fax 773-2125
メールはaomori@yomiuri.comへ

八戸支局
〒031-0081
八戸市柏崎1-10-2
八戸第一生命ビル内
電話 0178-44-0530
Fax 24-2349

弘前支局
〒036-8021
弘前市和徳町85
電話 0172-32-1618
Fax 32-1630
三通信部
三沢0176-53-3033
むつ0175-22-5091
Fax 22-6645
(RABサービス)
017-743-8686

読売旅行(青森)
017-721-0077

購読・配達は
県読売会
017-774-0258
青森中央 739-8558
南部 739-0043
東部 741-0431
西部 766-7296
弘前中央 33-8784
弘大前 36-6549
城西 36-6549
五所川原 35-0155
黒石 59-2477
八戸中央 22-2788
八戸東部 34-4799
八戸北部 28-1839
八戸西部 27-2330
三和田 23-4807
三辺 23-2079
野辺地 53-3454
七田 64-2355
名田 62-6442
大田 28-2166
部屋 24-3019

高校総体

1日

病院の実力「精神科」

医療機関別2008年治療実績
(読売新聞調べ)

施設名	新規患者数			精神保健福祉士	臨床心理士
	統合失調症	うつ病	アスペルガーサー症候群		
県立つくしが丘	106	30	3	1	2
弘前大	100	180	5	1	0
弘前愛成会	92	101	1	2	6
十和田市立中央	19	55	-	1	1
県立南光	87	159	11	3	2
手国・花巻	52	56	11	5	5
県立リハビリテーション・精神医療セ	79	48	1	3	2
秋田大	30	200	5	2	0
大館市立総合	-	-	-	1	3

「国・」は独立行政法人国立病院機構、
「セ」はセンター。「一」は未回答。

*全国の調査結果は「くらし健康面」に掲載しています。次回は9月6日「形成外科」の予定です。

統合失調症は、主に思春期から青年期にかけて発症し、妄想、幻覚、まとまりのない会話、目的を持たない行動、意欲の欠如などの症状が、1か月以上続く場合などに診断される。患者は70万人を超える。治療にはこの10年余り、副作用が少ない抗精神病薬が次

の機能異常が原因と考えられる広汎性発達障害のひとつで、知的障害を伴わないもの

アスペルガーサー症候群は、脳の機能異常が原因と考えられ

る精神保健福祉士は、精神科

分野に詳しいソーシャルワーカーの国家資格で1997年に設けられ、4万400人いる。患者の社会復帰に向けた職場との調整や公的助成のアドバイスなどを

病院の実力

～青森編21

精神科

今月の「病院の実力」は、精神科のある主要病院にアンケートした。地域版では、精神科で診る代表的な病気の統

ケートした。地域版では、精神科で診る代表的な病気の統

々と登場した。だが一方で、不必要的長期入院や薬の多剤

特定のものへのこだわりが強いため、円滑な対人関係を築きにくいなどの特徴がある。いじめなどのつらい体験が突然よみがえることがあり、これが幻覚や妄想と誤解され、統合失調症と誤診されるケースがある。

併用による副作用など、患者の社会復帰への障害となる課題も多い。

臨床心理士はカウンセリングが主な仕事で、日本臨床心理士資格認定協会が認定した人は約2万人。カウンセリングは医師が行う場合とは異なり、保険が適用されず、自費負担になることが多い。

臨床心理士数がポイント

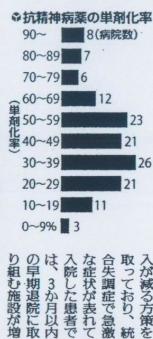
精神保健福祉士は、精神科

分野に詳しいソーシャルワーカーの国家資格で1997年に設けられ、4万400人いる。患者の社会復帰に向けた職場との調整や公的助成のアドバイスなどを

精神神経学会の研修施設（民間）の精神科病院は急性期治療

病院の実力

79



精神科薬の使い方に施設差

主な医療機関の精神科治療実績

①年間新規外来患者数②精神科医の人数
 ③入院患者の平均在院日数④抗精神病薬の単剤化率(%)

「国：」は独立行政法人国立病院機構。「セ」はセンターアクセス。「＝」は回答なし。

比べ低い単剤化率

スで、
「一表の最後に示した一片
精神疾患の単剤化療は、純
度の高いものとされ、精神疾患
の薬剤によっては、治療を行っている
うえで、精神疾患の割合だ。般にこの割
合は、精神疾患が高いため、適切な治療が行
われないと」と言えるアントン
一人は入院患者に対する案にし
た。
抗精神病薬は、「精神疾患を
手のままに歩行困難などの副
作用が比較的出でる」薬が使われ
るようになつたが、複数の薬
を含めて使つたのだが、從
来の多くの「單剤化療が最も
欧米や、中国、台湾などで
前後が多い。これに対し、日
本では、「治療効果が高まる」
として、複数の薬を出す場合
も少なくない。施設が最も多く、
30台以上の施設がある
施設間の競争激しかった。平
常さんは「抗精神病薬は、陳
氏らが原則として薬を変更する際
に一時的に複数の薬を使う」と
はあるが、片方は徐々に減ら
して種類減らすべきだと
話している。

(佐藤光良)

過去の「病院の実力」は、ヨミウリオンライン ([http://www.yomiuri.co.jp/iryou
/medi/jitsuryoku/](http://www.yomiuri.co.jp/iryou/medi/jitsuryoku/)) でご覧になれます。

次回(8月30日)は 食道がん

一卷まで。田 沢洋